

報道関係各位

2026年9月1日
ゲヒルン株式会社
三菱自動車工業株式会社

ゲヒルンと三菱自動車、「特務機関NERV災害対策車両」5号機を配備

『アウトランダー PHEV』をベースとした災害対策車を共同製作
電力と通信を独自に確保し、防災情報配信の継続と自治体の災害対応を支援



特務機関NERV制式
電源供給・衛星通信車両 5LA-GN0W(改)

ゲヒルン株式会社（以下、「ゲヒルン」）と三菱自動車工業株式会社（以下、「三菱自動車」）は、災害による長期停電や通信網の途絶に備え、防災情報配信サービスの継続と自治体への支援を目的とした災害対策車「特務機関NERV 制式 電源供給・衛星通信車両 5LA-GN0W（改）」（以下、「本車両」）を共同製作し、「特務機関 NERV 災害対策車両」5号機として本日から運用を開始しましたので、お知らせします。^{※1}

ゲヒルンと三菱自動車は、2019年12月に「特務機関 NERV 災害対策車両」整備計画の一環として、災害時においても電力と通信を独自に確保し、防災情報配信サービスを継続するための災害対策車両の運用を開始しました。整備計画の開始から7年が経とうとするいま、能登半島地震、令和8年熊本地震、さらに令和8年8月千葉豪雨での大規模な水害など、地震や風水害が各地で相次ぎ、停電や通信途絶を前提とした災害対応の重要性はいっそう高まっています。避難所や災害対策本部における電源・通信の確保は、被災した自治体にとって共通の課題であり、電力を蓄えて移動し、必要な場所で使える電動車と、地上インフラに依存しない衛星通信を組み合わせた災害対策車両への期待は、これまでに大きく広がっています。

本車両は、三菱自動車のクロスオーバー SUV『アウトランダー』プラグインハイブリッド EV モデル（以下、『アウトランダー PHEV』）の特別仕様車「BLACK Edition」をベースに、SpaceX 社の衛星通信サービスのアンテナを搭載し、地上の通信網が途絶した状況でもインターネット接続を確保できます。また、内閣府宇宙開発戦略推進事務局準天頂衛星システム戦略室（以下、「内閣府準天頂衛星システム戦略室」）から貸与を受けた、準天頂衛星「みちびき」を利用した衛星安否確認サービス「Q-ANPI」の端末を引き続き搭載し、みちびきを利用した災害用通信も確保します。

^{※1}「特務機関 NERV」の名称およびロゴマークは、『エヴァンゲリオン』シリーズの著作権者である株式会社カラーの許諾に基づき使用しています。

本車両の配備に伴い、前型の『アウトランダー PHEV』をベースとした4号機は運用を終了し、今後は『エクリプス クロス PHEV』をベースとした3号機と新たに配備する5号機の2台体制で運用します。両車両とも東京都千代田区に配備し、首都直下地震をはじめとする災害への備えに加え、派遣要請に応じて全国のイベントや被災地へ出動します。

◆本計画の3つの目的：自助・共助・公助が一体となった災害対策車両の製作

① 特務機関 NERV の防災情報配信サービスを単独・自力で継続

ゲヒルンは、特務機関 NERV 防災アプリ等を通じて防災情報を配信していますが、情報の発信側が機能を停止してしまうリスクを限りなく少なくする必要があります。停電や通信障害によって特務機関 NERV のオペレーション拠点で情報配信機能を喪失した場合に、本車両を使用して電力と通信を独自に確保し、防災情報配信サービスを継続します。

② 近隣自治体の災害対策本部・避難所等への支援

特務機関 NERV の防災情報配信オペレーションに支障がない場合には、被災地へ出動して災害対策本部や避難所等に、給電・充電サービス、IP 電話サービス、Wi-Fi インターネット接続サービス、インターネットおよび「みちびき」の災害・危機管理通報サービス※2を利用した防災情報を提供します。

③ 防災訓練への参加、自治体や企業の災害対策モデルケースの提示

防災訓練や全国各地の防災イベント等への参加を通じて、PHEV、衛星通信サービス、「みちびき」の有用性を紹介し、本車両をモデルケースに自治体や企業が独自に電力や通信を確保する重要性を提示して、災害対策をさらに強化できるよう協力します。

◆本車両の主な特長

① 災害時に必要な電力を確保する給電機能

『アウトランダー PHEV』の大容量駆動用バッテリーと給電機能を活用し、停電時でも災害対応活動に必要な電力を確保します。災害対策本部や避難所等における電源支援、スマートフォン等の充電支援、防災情報発信に必要な機器の電源確保など、さまざまな用途での活用を想定しています。

② 大容量駆動用バッテリーによる支援力の向上

今回導入した5号機の『アウトランダー PHEV』は、駆動用バッテリーの大容量化とEV航続距離の伸長により、平時の移動性能に加え、災害時の現地活動における実用性を高めています。電力を蓄え、移動し、必要な場所で使えるPHEVの特長を活かし、災害時の支援力向上に貢献します。

③ 悪天候時にも頼れる電動4WD性能

前後ツインモーター4WDと車両運動統合制御システム「S-AWC」により、雨天時や降雪時などの不安定な路面環境においても安定した走行を実現します。さらに、路面状況や走行環境に応じて選択できる7つのドライブモードを搭載し、舗装路から雪道、悪路まで幅広い環境で高い走破性を発揮します。寒冷地仕様を標準装備しており、厳冬期の低温環境における活動にも対応可能です。災害発生時の移動や、防災訓練・支援活動において、SUVタイプのPHEVならではの機動力を発揮します。

◆三菱自動車の「DENDO コミュニティサポートプログラム」と本計画

三菱自動車は、電動車の給電機能を災害時の電力供給に活用する「DENDO コミュニティサポートプログラム」を通じて、全国200以上の自治体と災害時協力協定を締結し、災害時に電動車を貸与する体制を整えています。過去の災害においても、被災地での電力供給に電動車が活躍してきた実績があります。

「移動する電源」としての電動車の役割と、過酷な環境下で発揮される走行性能と耐久性は、災害対応の現場で電力と機動力の両面を支えるものです。今回の本車両の共同製作は、こうした三菱自動車の公共的な取り組みと、防災情報配信という公共目的を担うゲヒルンの活動が重なり合うものであり、両社は本車両を通じて、自治体・企業の災害対策力の向上に引き続き貢献してまいります。

※2 災害・危機管理通報サービスとは、気象庁防災気象情報等の防災関連情報を「みちびき」から送信するサービスです。

◆神奈川県箱根町との災害時支援業務協定

ゲヒルンは2020年8月31日に神奈川県箱根町と災害時支援業務協定を締結しており、災害発生時には「特務機関 NERV 災害対策車両」を派遣し、給電サービス・Wi-Fi サービス・IP 電話サービスを災害対策本部・避難所等に提供します。本車両も本協定に基づく派遣対象となり、引き続き箱根町の災害対応を支援してまいります。

◆今後の取り組み

本車両は、ゲヒルンの防災情報配信を支えるBCP（事業継続計画）の中核として運用するとともに、災害発生時には被災地・避難所等へ出動し、給電支援などの災害対応活動にあたります。

また、平時には全国各地の防災訓練や防災イベントに参加し、電動車を活用した災害対策のモデルケースを広く提示していきます。実際に車両をご覧いただき、給電のデモンストレーション等を体験いただくことで、「自助・共助・公助」それぞれの場面で電動車が果たせる役割を、多くの方に知っていただきたいと考えています。

全国各地の防災訓練・防災イベントへの参加を予定しており、展示・出動情報は、ゲヒルンの各公式サイト・SNSにて随時お知らせします。

ゲヒルンは、今後も防災情報配信のさらなる強化に取り組んでまいります。

三菱自動車は、今後もゲヒルンとの協力をはじめ、電動車を活用した防災・災害対応の取り組みを推進し、災害に強い社会の実現に貢献してまいります。

◆会社概要

会 社 名	ゲヒルン株式会社
設 立	2010 年 7 月
代 表 者	代表取締役 石森 大貴
事 業 内 容	セキュリティコンサルティング及び助言型脆弱性診断、レンタルサーバーサービスの企画・管理・運営・販売、防災・気象情報の解析及び情報配信、Web 制作・開発・管理・企画・運営・販売
所 在 地	〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-3-6 セーキビル 7F
公 式 サイト	https://www.gehirn.co.jp/

会 社 名	三菱自動車工業株式会社
設 立	1970 年 4 月
代 表 者	取締役会長 兼 代表執行役 CEO 加藤隆雄
事 業 内 容	自動車および産業用エンジン等の開発・設計・製造・販売
所 在 地	〒108-8410 東京都港区芝浦三丁目 1 番 21 号 msb Tamachi 田町ステーションタワー S
公 式 サイト	https://www.mitsubishi-motors.com

「特務機関NERV 災害対策車両」 5号機 概要

制 式 名 称	特務機関 NERV 制式 電源供給・衛星通信車両 5LA-GN0W (改)
ベ ー ス 車 両	三菱自動車工業 『アウトランダー PHEV』 特別仕様車「BLACK Edition」
給 電 機 能	100V AC 電源 (1500W)
通 信 設 備	・SpaceX 社の衛星通信サービスによるインターネット接続サービス ・準天頂衛星システム「みちびき」衛星安否確認サービスによる通信
運 用 開 始 日	2026 年 9 月 1 日 東京エリア
運 用 管 理 者	ゲヒルン株式会社 技術開発部 危機管理局 ・届出電気通信事業者 A-23-12058 ・予報業務許可事業者 (地震動) 許可第 214 号 ・気象庁キキクル通知サービス協力事業者 ・L アラート 一般情報伝達者・特別利用者

提供サービス

災害対策本部や避難所等に本車両を派遣した場合、本車両の給電機能・衛星回線を通じて、以下のサービスを提供します。

① 電源供給・充電サービス

『アウトランダー PHEV』の持つ給電機能により、照明電源の提供、パソコンや携帯機器の充電、炊飯器、電子レンジそれに電気ポットといった調理器具への電源を供給します。

② Wi-Fi によるインターネット接続サービス

SpaceX 社の衛星通信サービスのインターネット回線を経由して Wi-Fi サービスを提供することで、スマートフォンをお持ちの方にインターネットアクセスを提供します。メールやメッセージアプリ、防災アプリの通信が可能になります。

③ みちびきの衛星安否確認サービスによる安否・避難所情報の通信サービス

Starlink のインターネット回線とは別に、みちびきを利用した通信により避難所の状況を防災機関等に伝達できます。主に避難所の避難者および運営者に向けたサービスです。

本件に関するお問い合わせ先	
ゲヒルン株式会社 外務部 広報局 酒井・由井 03-3263-2203 / pr@gehirn.co.jp	三菱自動車工業株式会社 広報部 商品広報グループ代表 03-6852-4276